

3年連続黒字 達成の京都市！ 財政は健全か それとも…？



特集 速報！9月議会 & 人事委勧告

人事委員、監査委員、選挙管理委員など
行政委員の報酬について考えてみよう！

すがや浩平
京都市議会議員事務所

市政に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

.....

.....

.....

.....

.....

お名前	フリガナ	ご連絡先	() -
ご住所	〒		

※ ご記入いただいた個人情報は、ご連絡以外の目的では使用いたしません。

FAX	1 上記に記入し、キリトリ線で切る	2 右記番号までFAXする	3 後日ご連絡させていただきます	FAX 075-493-6564
Email	1 QRコードを読み取るかメールアドレスを入力する	2 項目を記入し、送信する	3 後日ご返信させていただきます	Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp

※ 上記の枠内にご記入のうえ、写真に撮ったものをメールに添付し送信いただいても大丈夫です。

市政と一緒に、変えませんか。

菅谷浩平 京都市議会議員事務所では、市民からの陳情の対応や議会での質問に必要な政務調査活動をはじめ、議会報告のポスティングといった広報活動のサポートなど、みなさんの得意分野をいかなしながら、可能な範囲でお手伝いをお願いできるボランティアスタッフを募集しています。



▲ポスター（A2サイズ）

毎月第2土曜日に議会報告会をおこなっています。

わたし、京都市議会議員の菅谷浩平は、毎月定例の議会報告会を下記の通り開催しています。
是非ともお誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。市政に関するご意見・ご要望にもお応えします。

〔日時〕 毎月第2土曜日の夕方5時～6時 〔場所〕 菅谷浩平 京都市議会議員事務所

ポスター掲示ご協力をお願い （ポスター/A2サイズ タテ594mm×ヨコ420mm）
ご自宅の外壁・窓ガラス・フェンスなどのポスター掲示を許可していただける場所を探しています。

著作権法上、本紙掲載の写真、図、文章及びデザインの無断転載、借用、複製は禁じられています。

速報！9月議会&人事委勧告

01 京都市9月議会

**補正予算案や決算認定など計65議案を市が提出
昨年度の一般会計の実質収支は約58億円の黒字**

京都市9月議会が9月19日に開会し、市は総額70億7400万円にのぼる2025年度一般会計補正予算案のほか、市の2024年度の各会計の決算認定など計65議案を市議会に提出した。

今回の補正予算案は、物価高騰対策として、学校給食費の保護者負担の追加支援に3億円、省エネ基準を満たしたエアコンと冷蔵庫の買い替え促進に2億6000万円などのほか、深刻な運転手不足が続いている市営バスの一部路線での2028年度中の自動運転の導入に向けた実証実験に4700万円、2年連続で赤字決算となった市立病院機構に対する短期貸付金20億円などが充てられる。

昨年度の市の一般会計の決算

は、歳入総額が約9800億96

93万円(前年度比1・5%増)、

歳出総額が約9718億1573

万円(前年度比1・8%増)で、

翌年度への繰り越し分を差し引い

た実質収支が約58億3119万

円と3年連続で黒字となった。さ

らに、公営企業会計では、市上下

水道局の水道事業の純損益が約4

7億6413万円と10年連続で

黒字、下水道事業の純損益が約3

4億432万円と15年連続で黒

字となった。また、交通局の市

バス事業の経常損益が約10億8

23万円、地下鉄事業の経常損益

が約25億7681万円で、両事

業とも2年連続で黒字となった。

9月議会の審議期間は、10月

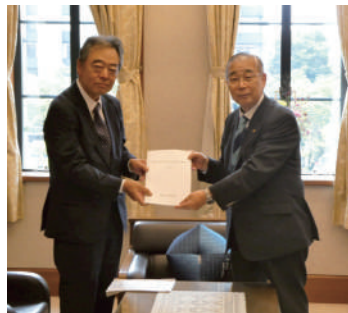
30日までの42日間の予定。

02 京都市人事委員会勧告

**1992年以来33年ぶり1万円超の引き上げ!?
駐車場利用に関する新たな手当など盛り込まれる**

京都市人事委員会は9月11日、松井市長や市議会の下村議長らに対して、市職員らの月給を平均2・89%(1万1780円)と、ボーナス(期末・勤勉手当)を平均0・05ヵ月分、それぞれ民間企業の水準にあわせて引き上げるように勧告した。

市職員らの月給の引き上げ幅が1万円超になるのは、1992年以来33年ぶりのことだが、市人



▲人事委員会勧告を受ける京都市議会の下村議長(右)

事委員会は国からの通知を受け、今年から給与水準の比較対象を、従業員50人以上の規模の企業から、100人以上の規模の企業へと見直していた。

市人事委員会の勧告どおりに給与改定が実施されれば、市職員ら(平均41・6歳)の平均年収は、21万6505円増の697万8814円となり、市の人件費も一般会計ベースで約39億円増となる。

また、市人事委員会は同勧告のなかで、通勤時に自家用車を使用している市職員らに対し、駐車場などの利用に関する手当を1ヵ月あたり5000円を上限に新設することなども盛り込んだ。

人事委員、監査委員、選挙管理委員など 行政委員の報酬について考えてみよう！

**ひと月の出勤日数が平均1・3日から3・2日で：
2023年10月に市選管の報酬の見直し求める**

京都市は8月18日、市の行政委員である人事委員、監査委員、教育委員、選挙管理委員、農業委員、固定資産評価審査委員の報酬のあり方について、外部の専門家らの意見などを聞く審議会の初会合を開いた。

ひと月の出勤日数が平均1・3日から3・2日ほどの市の行政委員の報酬は月額制で、各委員長らを除いて、人事委員、監査委員、教育委員が33万5000円、選挙管理委員が27万円(各行政区の選挙管理委員が10万7000円)、農業委員が5万5000円と、市の条例で定められており、月額制を採用する政令指定都市のなかでは概ね高い水準だ。なお、固定資産評価審査委員は、月額制で1万8000円となっている。



▲2年前の市議会でも選挙管理委員の報酬について取り上げる

ちなみに、2023年10月、わたしは市議会において、市選挙管理委員の報酬を月額制から日額制に見直すよう市に強く求めた。

また、2024年12月、市議会は、選挙管理委員などを含む市の行政委員の報酬のあり方について検証を求める決議案を全会一致で可決した。

市は今年度中に同審議会からの答申を受けて、行政委員の報酬を見直すかなど含めた方針を示す。

京都市議会議員・北区 菅谷 浩平 (39)

すがやこうへい



所属政党／なし(無所属)

※2025年3月に日本維新の会を離党

地域活動／消防団・少年補導・子ども見守り隊ほか

1986年に京都府京丹後市網野町で生まれる。京都府立網野高校、明治大学法学部を卒業後、大和証券株式会社で営業マンとして働く。2015年に28歳で京都市議選に北区から立候補し初当選。公約に掲げた議員報酬30%カットは自主的に実行中。

編集後記

Editors
note

京都市の2024年度一般会計の実質収支は約58億円の黒字で、過去3番目の大きさとなった。

公債償還基金の計画外の取り崩しなど、いわゆる「特別の財源対策」は3年連続で回避できた。一方で、市は約58億円の黒字のうち、今回の補正予算案で25億円を同基金の復元に充てており、残りの約33億円を施策などに使う。ちなみに、市は昨年度も、過去最高だった2023年度決算の約88億円の黒字のうち、市人事委員会勧告を踏まえて、市職員らの給与などの増額に約51億円を充てており、市の財政は依然として厳しい…。

菅谷浩平 京都市議会議員事務所

〒603-8232 京都市北区紫野東野町20-1

Tel 075-493-6564

Email sugayakohei0919@yahoo.co.jp



www.sugayakohei.com



@sugayakohei



facebook.com/sugayakohei



@sugayakohei